

科目名	英語	英文表記	English	2014/10/8					
科目コード	4003								
教員名:青木久美 技術職員名:				修正					
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間			
全学科	4年	必	履修	1単位	演習	後期			
科目目標	英文多読学習を継続し、YL2.4程度の図書を毎分100語程度の速度で読み、概要を把握できるようになる。また授業ないだけでなく、授業外でも自立的に読めるようになる。精読学習を通じ、高等学校指導要領に示されているレベルの文法や構文を定着させる。多読学習と精読学習を通じて、TOEICに対応できる英語の読解力を身につける。								
総合評価	評価: 期末試験25%、TOEICIP テストReading部門20%、多読ログの記録結果15%、課題レポート40%								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法		目標割合			
	①	英文多読を継続し、YL2.4程度の図書を自立的に授業内外で読めるようにする。TOEICテストに対応できる英語の読解力を身に付ける。(機械C-5、情報C-1、メディアC-3、生物C-2)		⇒	定期試験およびTOEICテストによって英語読解力の向上をはかるとともに文法や構文の定着を確認する。	40%			
	②	授業内外において1週間に多読図書を8千語以上読めるようにする。(機械C-5、情報C-1、メディアC-3、生物C-2)		⇒	読書記録手帳の記録、読書感想文などのレポート	40%			
	③	精読学習を通じ、高等学校指導要領に示されているレベルの文法や構文を定着させる。(機械C-5、情報C-1、メディアC-3、生物C-2)		⇒	定期試験およびTOEICテストによって英語読解力の向上をはかるとともに文法や構文の定着を確認する。	20%			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	◎	○	○		JABEEプログラム教育目標	C-5	C-1	C-3、	C-2
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		60	0	0	40	100			
基礎的理解	①	60			20	80			
応用力(実践・専門・融合)						0			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0			
主体的・継続的学修意欲	②				20	20			
授業概要、方針、履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>多読図書は必ず借りて帰り、授業内外を通じて1週間に6000語以上読むこと。</li> <li>自立的かつ継続的に多読に取り組み、年度の終わりまでには、YL2.4程度の図書を日本語を介さずに1分間に120語以上の速さで、40分以上継続して読めるようになること。</li> <li>読んだ本のタイトル、YL、語数、シリーズ名、感想を読書記録手帳に記録すること。</li> <li>時々、多読手帳をチェックするので、まとめて書き込まないこと。</li> <li>英字新聞などから抜粋した、タイムリーな時事問題を利用して精読を行う。</li> </ul>								
教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>多読図書教材「めざせ100万語!読書記録」(SSS英語多読研究会)</li> <li>精読用プリント</li> <li>TOEIC演習用教材</li> </ul>								

**授 業 計 画**

週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末	期末試験				
16	授業の説明 多読学習	2	シラバスを用いて、授業の達成目標、授業概要や評価方法について説明する。多読学習を通じて、毎分100語程度の速度で平易な物語文や説明文などを20分以上続けて読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語の多読ができる。	多読、課題	
17	多読学習 TOEIC演習	2	授業内外で6000語の多読を行い、YL2.0程度の図書を毎分100語程度の速さで30分以上続けて読めるようになる。時事問題を利用したPart7のTOEIC練習を通じて、TOEICIP一斉テストに備える。	多読、課題	
18	多読学習 精読演習	2	授業内外で6000語の多読を行、YL2.0程度の図書を毎分100語程度の速さで、35分以上続けて読めるようになる。時事問題を利用した精読演習を通じて、多読学習および精読演習を通じて高等学校指導要領に示されているレベルの文法や構文を定着させる。	多読、課題	
19	TOEICIPテスト	2	TOEICIPテストを受験し、自分のレベルをはかる		
20	多読学習 精読演習	2	授業内外で6000語の多読を行、YL2.4程度の図書を毎分120語程度の速さで40分以上続けて読めるようになるように、少しずつレベルとスピードをあげていく。時事問題を利用した精読演習を通じて、多読学習および精読演習を通じて高等学校指導要領に示されているレベルの文法や構文を定着させる。	多読、課題	
21	多読学習 精読演習	2	授業内外で6000語の多読を行、YL2.4程度の図書を毎分120語程度の速さで40分以上続けて読めるようになるように、少しずつレベルとスピードをあげていく。時事問題を利用した精読演習を通じて、多読学習および精読演習を通じて高等学校指導要領に示されているレベルの文法や構文を定着させる。	多読、課題	
22	多読学習 精読演習	2	授業内外で6000語の多読を行、YL2.4程度の図書を毎分120語程度の速さで40分以上続けて読めるようになるように、少しずつレベルとスピードをあげていく。時事問題を利用した精読演習を通じて、多読学習および精読演習を通じて高等学校指導要領に示されているレベルの文法や構文を定着させる。	多読、課題	
23	多読学習 精読演習	2	授業内外で6000語の多読を行、YL2.4程度の図書を毎分120語程度の速さで40分以上続けて読めるようになるように、少しずつレベルとスピードをあげていく。PGR2など長文にも挑戦する。時事問題を利用した精読演習を通じて、多読学習および精読演習を通じて高等学校指導要領に示されているレベルの文法や構文を定着させる。	多読、課題	
24	多読学習 精読演習	2	授業内外で6000語の多読を行、YL2.4程度の図書を毎分120語程度の速さで40分以上続けて読めるようになるように、PGR2など長文にも挑戦する。時事問題を利用した精読演習を通じて、多読学習および精読演習を通じて高等学校指導要領に示されているレベルの文法や構文を定着させる。	多読、課題	
25	多読学習 精読演習	2	授業内外で6000語の多読を行、YL2.4程度の図書を毎分120語程度の速さで40分以上続けて読めるようになるように、PGR2など長文にも挑戦する。時事問題を利用した精読演習を通じて、多読学習および精読演習を通じて高等学校指導要領に示されているレベルの文法や構文を定着させる。	多読、課題	

26	多読学習 精読演習	2	授業内外で6000語の多読を行、YL2.4程度の図書を毎分120語程度の速さで40分以上続けて読めるようになるように、OBW1や2など長文にも挑戦する。時事問題を利用した精読演習を通じて、多読学習および精読演習を通じて高等学校指導要領に示されているレベルの文法や構文を定着させる。	多読、課題
27	多読学習 精読演習	2	授業内外で6000語の多読を行、YL2.4程度の図書を毎分120語程度の速さで40分以上続けて読めるようになるように、OBW1や2など長文にも挑戦する。時事問題を利用した精読演習を通じて、多読学習および精読演習を通じて高等学校指導要領に示されているレベルの文法や構文を定着させる。	多読、課題
28	多読学習 精読演習	2	授業内外で6000語の多読を行、YL2.4程度の図書を毎分120語程度の速さで40分以上続けて読めるようになるように、OBW1や2など長文にも挑戦する。時事問題を利用した精読演習を通じて、多読学習および精読演習を通じて高等学校指導要領に示されているレベルの文法や構文を定着させる。	多読、課題
29	多読学習 精読演習	2	授業内外で6000語の多読を行、YL2.4程度の図書を毎分120語程度の速さで40分以上続けて読めるようになるように、OBW1や2など長文にも挑戦する。時事問題を利用した精読演習を通じて、多読学習および精読演習を通じて高等学校指導要領に示されているレベルの文法や構文を定着させる。	多読、課題
30	多読学習 精読演習	2	授業内外で6000語の多読を行、YL2.4程度の図書を毎分120語程度の速さで40分以上続けて読めるようになる。時事問題を利用した精読演習を通じて、多読学習および精読演習を通じて高等学校指導要領に示されているレベルの文法や構文を定着させる。	多読、課題
期末	期末試験	[1]	多読問題	
学習時間合計		30	実時間	22.5
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)
<b>備考欄</b>				
(共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) ・ この科目の主たる関連科目は英語(4年)実用英語(TOEIC)(4年)、科学技術英語(4年) その他必要事項は各コースで決める。				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)

|



|